

第4期 大分県森林環境税を活用した事業成果

第4期 大分県森林環境税活用事業費計 1,295,185千円

※数値は4年間（R3～R6）の実績

I 県民の暮らしを守る安全・安心の森林づくり 563,087千円（43%）

■災害に強い森林づくり事業費:226,849千円

- ・河川沿い等の人工林を伐採。広葉樹林化の促進により流木被害を抑制

整備面積：145ha



河川沿いの人工林整備

- ・県管理道沿いの倒木の恐れのある樹木を伐採し、生活インフラの防災力を強化

整備路線数：37か所



県道沿いの危険木伐採

■シカ被害対策の推進 事業費:324,176千円

- ・シカ捕獲報償金の上乗せ補助を行い、捕獲を強化することでシカによる農林業被害を低減

シカ農林業被害額

H20（開始）87百万円→R6 36百万円

（捕獲報償金を支出したシカ捕獲頭数：160,403頭）

■森・川・海をつなぐ環境の整備 事業費:12,062千円

- ・漁港の流木等を回収し、漁業被害を防止

回収港数：6港



皮剥ぎ被害



クヌギの萌芽



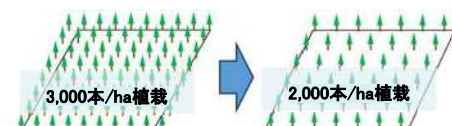
港の流木等回収

II 森林資源の循環利用による地域活性化 518,541千円（40%）

■健全な人工林資源の循環と低コスト化の推進 事業費:517,022千円

- ・2,000本/ha植栽の低コスト再造林を補助し育林コストを低減

低コスト再造林面積：3,912ha



低コスト再造林地

■森林資源の利活用促進 事業費:1,519千円

- ・「竹林学校」でたけのこ生産と竹材生産に関する基本的な知識や技術を学ぶ研修会を開催

参加者数：162人



竹の伐採実習



【竹林学校】
たけのこ生産実習

III 森林を守り親しみ、次世代につなぐ取組 213,557千円（17%）

■里山林の保全活動の推進 事業費:39,418千円

- ・観光ルート沿線等で景観の支障となる樹木を伐採し、景観を再生

整備箇所：24か所



景観再生

■森林ボランティア活動の推進 事業費:47,655千円

- ・森林ボランティア情報の発信や研修会を開催。また、県民が企画する森づくり活動や森林教育活動を支援

森林ボランティア参加人数：49,405人



ボランティア活動

■森林林業教育・森林ESDの推進 事業費:115,039千円

- ・大分県の森林・林業について体系的にまとめた「大分県森林・林業デジタル副読本」を作成し小中学校に配布

副読本児童配布数：56,751人



デジタル副読本



教育現場で活用

■森林づくりへの理解を広げる取組 事業費:11,445千円

- ・県森林環境税の取組についてホームページや新聞、テレビ等で広報活動を実施

広報回数：新聞 16回、テレビ・ラジオ 45回

- ・森林・林業を楽しく体験できるイベント「森フェス」を開催し、森林に親しむ機会を提供

参加者数：1,196人



森フェス

◆第4期 年度別県森林環境税執行額

（単位：千円）

区分	R3	R4	R5	R6	R7予算
合計	299,205	298,664	325,889	371,427	376,682